

# Fitness Industry Association

## NEWS



発行:(一社)日本フィットネス産業協会  
TEL.03-5207-6107  
FAX.03-5207-6108  
E-mail. info@fia.or.jp  
http://www.fia.or.jp

### Topics

### トピックス

#### IHRSA 2014 San Diego 開催レポート

〔記:(一社)日本フィットネス産業協会 事務局長 松村 剛〕



今回で33回目となるIHRSAコンベンション&トレードショーが、去る3月にカリフォルニア州サン・ディエゴにて開催された。

アメリカを中心に80か国以上の国々のフィットネスクラブの運営に関わるスタッフ、経営者及び、サプライヤー、そしてトレーナー、グループエクササイズリーダー達が一堂に会した。

総参加者数は11,000名を超える。

会期中(3月12日から15日の3日間)は、世界の健康のためのエクササイズ活性化を推進するための革新的なプロダクトやサービスが提供されたことはもちろん、熱気あふれるイベントも要所に散りばめられている。

例を挙げると、今年以下のような主題が提案されていた

- 1) How to Fascinate(Sponsored by SPRI) 魅了の方法
- 2) Decisive : How to make better choices (Sponsored by Technogym®) 決断力
- 3) Disrupt : Sparking Business Transformation with Innovation (Sponsored by MYZONE) 既成概念の粉碎

こうした基調講演だけでなく、その他にもGlobal Leaders SummitやWomen's Leadership SummitといったIHRSAならではのサミットが開かれる。

さらには、エクササイズやネットワーキング、コミュニケーションスキル、マーケティング、セールスコミッション、キャンペーンアイデア、リーダーシップ等、多様なジャンルから150のワークショップが提供されていた。

そのほかにも業界発展に様々なかたちで寄与した個人や団体、クラブの表彰も積極的に行われている。

以上のようにIHRSAは、単に展示会を見てフィットネス機器やプログラムなどのトレンドを視覚的に掴むだけではなく、アーリーモーニングエクササイズで実際にトレーニング機器やプログラムを体感することで、その進化を掴むことが可能だ。

参加料金はトレードショー見学オンリーで最低30ドルから期間中のすべてのイベント、セミナー等への参加が可能なフルレジストレーションで625ドルから1,000ドル前後までと、決して安くはない。しかし、3日間アーリーバードエクササイズで実際にマシンやプログラムを体験し、セミナーにおいて施設経営やコーチング、マーケティング、ブランディング等

展示会場においては、16,740平方メートルの会場は372社の出展ブースで、ほぼすべてが埋め尽くされ、朝は6時から始まる早朝ワークアウトから夕刻の閉館まで、熱気が絶えることはない。

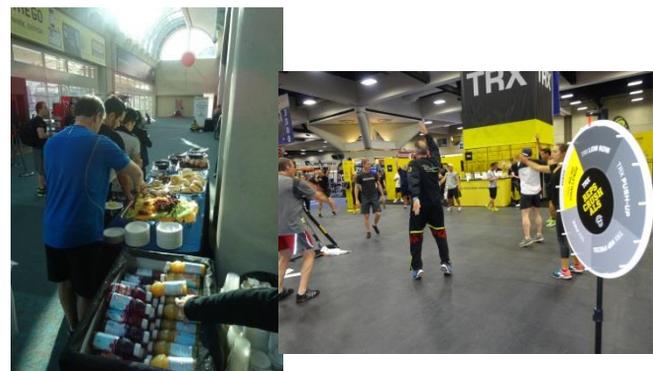
現在、IHRSAでは“Why Get Active”という、フィットネスクラブに通う人々にとってエクササイズが、もっと日常的で身近なものとなることを目的としたキャンペーンを展開しており、今回のIHRSAはこのキャンペーンを連動させることで、フィットネス産業の活性を促進させたことが、例年と違う一つの特徴だといえるのではないかと。

期間中は、毎日異なったテーマの基調講演がスポンサー企業より提供されており、この基調講演に耳を傾けることを目的の一つとしている参加者も少なくない。



のビジネススキルをブラッシュアップし、さらに夜ともなるとカジュアルなウェルカムレセプションが用意されていたりと、有効に参加すれば多くの収穫を得ることができるのではないかと。

基調講演やセミナーの入口、インターナショナルミーティングルームにおいては、フリーのWi-Fi環境であることはもちろん、ミネラルウォーターやコーヒーのフリーサービス、さらには朝6時30分からのエクササイズクラスの終了間際には、しっかりとしたボリュームの朝食もフリーで用意されるなど、うれしい環境が整えられている。



IHRSAコンベンションについては、日本からは毎年クラブビジネスジャパン社が、米国のフィットネス施設見学も含めたツアーを組んでおり、ツアー参加者のみに用意された通訳付きのセミナーも用意されている。詳しくは、クラブビジネスジャパン社にお問い合わせいただきたい。

## IHRSA2014から見えるフィットネスマーケットのトレンド

アメリカにおけるフィットネスビジネスの向いている方向は、非常にわかりやすく“Diet & Shape”であることは言うまでもないが、その傾向は年を追うごとに集約されていくように感じるのは私だけだろうか。

年々深刻化する肥満は、Obesity Epidemic(肥満の伝染)とまで位置づけられるほどに深刻な社会問題化している米国ならではのフィットネス産業に求められるミッションなのであろう。

この“Diet & Shape”という目的に到達するプロセスをアメリカのフィットネスシーンは現実的にユーザーに提案している。肥満から脱する道のりは本質的には決してなだらかではない。食生活のコントロールはもちろんのこと、エクササイズにおいては、減量を促す脂肪燃焼を目的とした場合、それなりの強度と時間を費やさないと、目に見える結果を得ることはできない。もっとわかり易く言うと、“Diet & Shapeのための運動は、それなりに辛いのも覚悟しようね”ということと比較的直球でユーザーに訴えている。

今年のIHRSAコンベンションという気球に乗って俯瞰してみるといよいよ、その感を強くする。

高齢者層の増加と共に必要とされる介護予防・機能改善や、そうしたケアの手段、場としてのフィットネス関連施設としての役割も同時に求められる、ヨーロッパや日本の社会背景とは、現段階では明らかに情勢が違ふ。

この“Diet & Shape”という目的を達成するために、ありとあらゆるアイデアが連続的なトライアルを繰り返しつつ、新たなツールやシステム、そしてプログラムを生み出し続け

ている。その様子は、とてもスピーディーであり、前に向かっていく。もちろん、そうしたトレンドの流れの中には、ユーザー側に障害をもたらしたり、投資に見合った結果が引き出せなかったりという課題が潜在していることもゼロではないだろう。

しかし、フィットネスおたく(?)を自負する小職にとっては、そうしたアメリカのフィットネス市場の動向は、ワクワクを感じてしまう。

今回のIHRSAにおいて拾ったキーワードをいくつか挙げると、以下のような点が特に際立って垣間見えたトレンドである。

- ①ファンクショナル&サーキット(Functional & Circuit)
- ②パーソナルイングループセッティング(Personal in Group Setting)
- ③ウェアラブル(wearable device)
- ④スマートフォン(Smartphone)

これらのキーワードは、今年になって新たに感じたということではなく、ここ二年ほど引き続き、という感じであるが、それなりの進化を体感できる。

以下、簡単にトピックで紹介したい。



### ①ファンクショナル&サーキット(Functional & Circuit)

アメリカのフィットネス市場において、今、際だって増殖しているトレーニングといえば“Cross Fit”

面上に色によってリアルタイムに表示される。

最大心拍数に対する設定目標値を超えたら赤、ちょうど良いと黄色、不足していたらグレー等というように、一目で全員の達成状況を把握することができる。

このシステムを一つのスタジオシステムに落とし込んでフランチャイズ展開を図っているのがOrange theory® Fitnessだ。

このシステムは非常にわかりやすく直球だ。コンデショニング系のエクササイズとカーディオ系のエクササイズを複合し、一定の目標心拍数で、一定時間内を常にキープするサーキットプログラムが提供される。TRX, ローイングマシン、トレッドミル、ステップ台等のツールが主に活用される。

インストラクターは常に全員の心拍状況を把握しながら、追い込みをかけたり、逆に強度を落とすことを指示したり、フォームをチェックしたりと、個々をしっかりと管理する。

それら全体を一つのシステムとしてブランディングし、全米でもかなり注目されている新しいフランチャイズビジネスだ。



だろう。オープンスペースで提供されるかなり強度の高いファンクショナルサーキットトレーニングだ。ケトルベル、バーベル、チンニングバー、ロープ、踏み台、ローイングマシン、そしてTRX等を使ったグループエクササイズで、非常にコンペティティブ(お互い競争し合う)なグループサーキットだ。このメソッドを一つのステーションに融合させたマシンや、コンパクトにまとめたパーツが非常に多く出展されており、その数は昨年にも増して旺盛であった。

もちろん、ハード面だけではなく、そこで提供されるエクササイズやインストラクターの指導方法、モチベーションさせ方も、より洗練されてきているように感じた。

小職も、いくつかのステーションを実際に体験したが、普段トレーニングを怠っていない自負があっても、たった10分で心拍は上がり、(プログラムを体験する筆者)汗が噴き出していた。



### ②パーソナルイングループセッティング(Personal in Group Setting)

一つのグループエクササイズの中で、インストラクターが、個々に応じたゴールや求める強度を把握し、効率よくしかも安全に興味を維持させながらエクササイズを管理する手法ということだ。

例えば、SPiVi®というインドアサイクリングシステムや、Orange theory® Fitnessというフランチャイズが目にとまった。両方に共通するのが、ハートレートモニターである。複数人のハートレートをリアルタイムで一元的に管理し、本人はもちろんインストラクターも目標とする心拍を常に維持しながら、一定時間のグループエクササイズに参加するというシステムだ。目標心拍に対する達成度は、参加者全員の状況が一つの画

### ③ウェアラブル(wearable device)

フィットネスマーケットにおけるウェアラブルデバイスは、万歩計の発想を起源に急速に進化し、今や既に新しいものではない。特に米国におけるその普及は日本の現状の比ではないだろう。

ただ、最近の新たな進化を促しているのが、GPSシステムだ。この機能が搭載されることによって、屋外での活動履歴が今まで以上にリアルに記録され、しかも評価も精緻さを増している。GPSは屋外での活動履歴を、距離、経路、速さ、そして高低差に至るまで正確にその軌跡をトレースする。

その履歴と心拍の推移等を総合的に評価し、ユーザーに伝える。さらに、そのデータの記録は、共有のサイトで管理される。アセスメントのフィードバックに関しても、アルゴリズムの階層が増えた分、具体性が高くなっているように感じる。



### ④スマートフォン(Smartphone)

アメリカにおけるスマートフォンの普及率をみると2013年の段階で56%。

2年前が35%であったことと比較し、その普及が加速していることを鑑みると成人のほとんどがスマホを所有していると言っても過言ではないであろう。

こうした背景からおのずと、このツールがフィットネスにも活用され、進化を続けていることは当たり前と言えるだろう。

スマートフォン(タブレット端末も含む)をプラットフォームとして、トレーニングや栄養に関するプランが提案され、その遂行過程は特定のソフトによってトレースされて、そのデータを基にコーチングも実施される。

エクササイズプログラムや栄養アドバイスは、アルゴリズムによる提案が多いようだが、先進的なパーソナルトレーナーは独自でskype等の活用によってインターフェースな遠隔サービスを提供する事例も数多く出てきているようだ。



## Board Meeting

## 理事会報告

2014年5月9日(金)弘済会館(東京・麹町)にて第164回FIA理事会が開催された。

理事、監事22名のうち20名が出席し、協会運営に関する事項並びに6月の総会議案の審議などを行った。

### (1)新規入会承認の件。

(株)ゼンリンデータコム、及び(株)ダイフブリッジより提出の賛助会員への入会依頼が承認された。

#### ①株式会社 ゼンリンデータコム (賛助会員)

所在地 東京都港区

資本金 17億8300万円

営業内容 地図ソリューション事業、モバイル端末向け事業、ネットナビ事業

#### ②株式会社 ダイフブリッジ (賛助会員)

所在地 東京都渋谷区

資本金 270万円

営業内容 ダンス運動プログラムの企画開発、インストラクターの育成

また、正会員、朝日スポーツ(株)・(株)進学会、賛助会員(株)きんでん東京本社3件の退会についても承認された。

### (2)後援名義使用承認の件

SPORTEC実行委員会提出の「SPORTEC2014」イベントへの特別協力依頼、及び(公財)日本スポーツクラブ協会提出の「第10回スポーツクラブマネジャー養成講習会」並びにアクアエクササイズ国内総会実行委員会提出の「第11

回アクアフィットネスコンファレンス」に対する後援名義使用許可申請の3件につきいずれも承認された。

### (3)委員会分科会別の進捗状況

各委員会所管の活動概要につき、事務局並びに各委員長より報告を行った。

#### ●社会・渉外委員会

##### ①適格消費者団体からの申入れ等に関する件

(株)THINKフィットネスについて、4月「合意」に達し終結の見込みである。

スポーツクラブNAS(株)について、昨秋申入れとこれに対する回答を行った北海道の消費者団体より4月に入り反論があり対応中である。

#### ●事業委員会

##### ①6月総会記念セミナー準備状況につき報告。

②「FIA加盟クラブ対抗駅伝自主事業化」は、3月20日第1回実行委員会を開催し、実行委の進め方、東京・大阪での本年度開催案、集客の仕方など協議を行ったことを報告。

③「FIAマスターズスイミング選手権大会2014」開催(2014年3月15日、16日開催)を報告。

447チーム 2456人、世界記録6・日本記録20など。

##### ④FIAセミナー東京(2014年3月19日開催)を報告。

セミナーA:「既存施設と機能を活かした新たなサービス創出事例と総合型フィットネスクラブに潜在するビジネスチャンス」50名

セミナーB「クラブ、消費者、行政からFIAに寄せられる相談・クレームから読み取るトラブルを未然に防ぐマネジメント」41名

- ⑤厚労省、業界検定スタートアップ支援事業採択による「クラブマネージャー業務検定制度構築」スタートに当たり、
- 1.作業委員の派出、
  - 2.事務局支援としての「プロジェクト進行管理者」選定の2点について理事各社の協力を依頼した。今後会員各社にも呼び掛け予定。
- 協議の中で、「検定制度」であって「資格制度の新設では無い」ので各種文書では文言使用に注意すべきとの意見があり、確認した。

- ⑥運動サービスの品質評価・認証制度(経産省委託調査事業)につき、当業界・加盟各社の利益につながる制度とする為にアピールすべき事項について協議する為の概要説明を行った。本年度予定の実証事業参加クラブ応募を呼びかける予定。

### ●組織基盤拡充委員会

- ①地方協議会との連携の件について報告した。  
九州セミナー(福岡市) 2014年3月27日(木)開催 23名

### (4)平成25年度決算未払い額一部処理の件

事務局より、平成25年度決算中、未払額9,459,693円のうち平成24年度持ち越しの3,651,045円について雑収入として繰り入れを行い、この修正決算書を以て総会議案としたい旨説明、協議の結果承認した。

### (5)総会議案書審議の件

6月の第27回定時総会議案書案について審議・調整を行い議案内容を承認した。  
現行理事監事は任期満了となるが、引き続き選任候補とする。また新家谷隆夫理事、木皿儀邦夫理事並びに橋本秀一理事は後任の方へ交代すること及び中村良明監事は退任されることにつき、了承した。

### (6)その他報告事項など

平成26年度、理事会他主要行事の日程について協議した。

## Information

## お知らせ

### 1. 「フィットネスクラブマネージャー業務業界検定制度」事業推進専従臨時職員の公募について



この度、FIAは厚生労働省が雇用促進事業の一環として着手する、業界検定等のツール策定、モデル活用等のスタートアップ支援事業を受託する事となりました。今後、2年間の間に、フィットネスクラブのマネージャー及び支配人など、マネージメントに関する職能検定システムを構築し、その実用化に着手します。

FIAでは、この事業推進の業務をサポートしていただく方を募集いたします。

募集の詳細につきましては、FIAのホームページTOPページ(<http://www.fia.or.jp>)から「臨時職員募集中！」のボタンを押して詳細をご確認ください。

### 2. FIA総会を開催します。

6月18日(水)14時より、有明ワシントンホテル東京ベイにて第27回FIA定時総会を開催いたします。FIA正会員代表者様にはご案内をお送りしておりますのでご出席くださいますようお願い申し上げます。

### 3. FIA総会記念セミナー&交流パーティーを開催します。

6月18日(水)総会后15時30分より総会記念セミナーを開催いたします。

日時:2014年6月18日(水)

15時30分~17時

場所:有明ワシントンホテル東京ベイ

講師:為末 大(タメスエ ダイ)

アスリートソサエティ代表理事、  
R.project取締役



### テーマ:『スポーツの未来』

高齢化の進行、地方からの若者の流出、出生率の低下など日本の生活様式が急速に変化しています。一方では、国は「成長戦略」の具現化に向けた重要課題の一つとして「健康長寿社会の実現」を取り上げています。こうした状況だからこそ、スポーツやフィットネスが大切なより所となるはずで。

さらに、2020年東京オリンピック開催を受けて、国民のスポーツへの関心が高まってきています。そのような点からもスポーツが社会に果たす役割は、深くそして多様になってくるでしょう。

そんなスポーツの未来について、為末氏のビジョンを語っていただきます。

### ◆FIA交流パーティー◆

日時:6月18日(水)17時30分~19時

場所:有明ワシントンホテル東京ベイ

<参加費>

	FIA会員	非会員
セミナー&交流パーティー	8,000円	15,000円
セミナーのみ	5,000円	8,000円
交流パーティーのみ	5,000円	10,000円

★上記詳細案内&申込書のダウンロードはFIAのホームページをご覧ください。

<http://www.fia.or.jp>

※多数の参加が見込まれますのでお早めにお申込みください。

## New Clubs

## 出店情報

### 6月のオープンクラブ

アイレックススポーツクラブ春日井

所在地:愛知県春日井市篠木町7丁目43-6

TEL:0568-37-2001

●FIA会員

スポーツクラブNAS パークプレイス大分

所在地:大分県大分市公園通り西1丁目6675-4

TEL:097-520-6691

●FIA会員

フィットネスクラブB-fit鶴見緑地(仮称)

所在地:大阪府大阪市鶴見緑地公園1-37

鶴見緑地湯元水春内

TEL:06-4257-3330

**Curves稲田堤**

所在地:神奈川県川崎市多摩区菅1-3-2  
 コトブキビル1F  
 TEL:044-819-6122

**Curves千曲**

所在地:長野県千曲市鑄物師屋130-3  
 TEL:026-214-2517

**Curves北の森**

所在地:富山県富山市森3-2-11  
 ショッピングタウン北の森  
 TEL:076-438-1131

**Curves平島ザ・ビッグ**

所在地:岡山県岡山市東区東平島1001-1  
 TEL:086-297-2626

**Curvesアピタ高蔵寺**

所在地:愛知県春日井市中央台2-5  
 アピタ高蔵寺店 2F  
 TEL:0568-92-2230

**Curves村上プラザ**

所在地:新潟県村上市仲間町200番地  
 TEL:0254-50-1122

**Curves学園前イズミヤ**

所在地:奈良県奈良市学園中4丁目539番1  
 イズミヤ学園前店 2F  
 TEL:0742-93-4879

**Curves大崎広小路**

所在地:東京都品川区大崎5-7-14  
 TEL:03-6303-9566

**Curves白岡**

所在地:埼玉県白岡市白岡東12-15  
 TEL:048-053-9234

**Curves上北沢**

所在地:東京都世田谷区上北沢4-16-11  
 シュゼル上北沢1F  
 TEL:03-6379-8142

●FIA会員

**Curves松本デリシア寿**

所在地:長野県松本市松原42-13  
 TEL:0263-87-1230

**Curves武雄温泉駅前**

所在地:佐賀県武雄市武雄町昭和19-9  
 TEL:0954-22-3939

**Curves南林間**

所在地:神奈川県大和市南林間1-11-18  
 スーパー生鮮館TAIGA南林間店2F  
 TEL:046-272-1011

**Curvesハッピードラッグ沖館**

所在地:青森県青森市柳川2丁目4-22  
 TEL:017-752-8222

**Curves倉敷古城池**

所在地:岡山県倉敷市福田町古新田306-6  
 TEL:086-456-8577

**Curves大倉山**

所在地:神奈川県横浜市港北区大倉山1-3-13 2F  
 TEL:045-710-0188

**Curves豊田吉原**

所在地:愛知県豊田市吉原町平池173番地 1階  
 TEL:0565-41-7888

**Curves茨木水尾**

所在地:大阪府茨木市水尾3丁目16-28  
 メデミックスビル301号  
 TEL:072-652-2020

**Curves長崎新地**

所在地:長崎県長崎市新地町8番16号  
 ミナトパークビル4F  
 TEL:095-816-3222

●FIA会員

**Issue****記事****埼玉県深谷市、介護予防でスポーツクラブと連携**

埼玉県深谷市は民間スポーツクラブと連携し、高齢者向けの介護予防事業を始める。民間施設を地域資源と位置付け、運動指導などのノウハウを持つスポーツクラブに事業委託する。

(2014.5.7 日本経済)

## フランスベッド、介護予防施設、栃木に初開設

フランスベッドは栃木県那須塩原市に、要介護度の低い高齢者がフィットネス感覚で利用できるデイサービスセンター「悠悠いきいき倶楽部(くらぶ) カワチ薬品黒磯店」を開設した。栃木県内では初の施設で、フランチャイズチェーン(FC)店としてカワチ薬品が運営する。

高齢者用の筋力トレーニング用具や有酸素運動ができる機器などを配置した。専門スタッフの指導により、介護予防のプログラムが受けられる。

月額基本料金は要支援1の人が2,340円、要支援2が4,461円。

(2014.5.8 日本経済)

## R・project、遊休施設でスポーツを——保養所を合宿所に、事業拡大、館山・長柄でも

自治体や企業の遊休施設をスポーツ合宿所として活用するR・project(アールプロジェクト、東京・品川)が千葉県内で事業を拡大している。鋸南町と千葉市の施設に続き、7月には館山市と長柄町で2施設を開業する。2007年に始めた鋸南町では民宿経営者らとスポーツ振興団体を結成。スポーツによる街おこしにも取り組み、新たな集客の仕組みとして注目される。

(2014.5.10 日本経済)

## 経産省、健康関連サービス、高齢者受け入れで認証制

経済産業省は健康に不安を抱える高齢者でも通いやすくするよう、スポーツジムなどの健康関連サービスを認証する取り組みを始める。高齢者の受け入れ体制などを審査し「お墨付き」を与える。民間のフィットネスクラブなどを対象に7月から認証制度の実験を始める。

(2014.5.13 日本経済)

## クリエイトSD、デイサービス施設3割増、来期、高齢者向け、薬局併設型も拡大

クリエイトSDホールディングスは高齢者向けデイサービス(通所介護)施設を2015年5月期に3割増やす。事業子会社を通じて、立ち上がって歩く動作などの機能訓練に特化した施設を首都圏に10ヶ所新設。グループ傘下のドラッグストアとの併設型の施設を展開し、高齢者が手軽に医薬品や日用品などを購入できるようにして、事業の相乗効果を高める。

(2014.5.13 日本経済)

## 高齢者向け滞在型観光、大和ハウス、系列ホテル利用、農業体験や健康増進講座

大和ハウス工業は高齢者を対象にした滞在型の観光事業を今秋から始める。グループ会社のリゾートホテルに3泊してもらい近隣の観光地などに足を伸ばしてもらおう。農作業体験やスポーツクラブの健康増進講座といったメニューを用意して集客する。

まずグループ会社の大和リゾートが運営する栃木県と滋賀県にあるロイヤルホテルを利用する。20人1組で近隣の史跡探訪や稲刈りなどの農業体験をしてもらう。

ホテルにはグループ会社のスポーツクラブNASのインストラクターも一緒に泊まり、身体の不調などを防ぐストレッチや歩き方の講座を開く。費用は3泊4日で7~8万円になる。

今後は全国に27ヶ所あるロイヤルホテルのうち観光資源の豊富な10ヶ所程度を拠点に滞在型観光サービスを広げる。会員組織も立ち上げる。5年間で2,000人規模の加入をめざす。

(2014.5.14 日本経済)

## ローソン、健康管理支援、フィットネス大手と、無料アプリ提供

ローソンはフィットネスクラブ大手のルネサンスと提携し、今秋から消費者の健康管理支援を始める。ポイントサービス「Ponta(ポインタ)」の会員向けに、スマートフォン(スマホ)などのアプリ(応用ソフト)を通じて生活改善などを指南。健康づくりに役立つ商品情報も発信する。ローソンは消費者の健康志向に的を絞った店舗展開を打ち出しており、ネットを活用して健康への意識が高い消費者の来店を促す。

(2014.5.15 日本経済)

## 高松市、高齢者集いの場設置に助成

高松市は高齢者が集まってレクリエーションや介護予防の運動などができる「居場所」づくりの設置を後押しする。建物の改修や備品購入などに上限20万円を交付するほか、運営費も年3~7万円助成する。高齢者に優しい街づくりを進め、今後3年間で市内に300ヶ所を設置する計画。対象は市内在住か、市内に活動の拠点を置き、同じ場所で3年以上活動する計画がある個人や団体。原則週1回以上活動し、毎回介護予防メニューを実施するなどの条件を満たす必要がある。

(2014.5.29 日本経済)